

共命鳥

校長 豆田 啓二

新年あけましておめでとうございます。昨年は「災」という字に象徴されたように暮れの暮れまで世界中が風水害や痛ましい事件に悩まされた年だったように思います。今年こそ「福」の字が多い穏やかな一年になるよう期待したいと思います。

この正月、しまい込んだ古びた本を引っ張り出していたら、昔、ある学校で子ども達に話した「共命鳥」という鳥の話が出てきました。懐かしく読みながら、ずいぶん昔のことだとしても、今でも通じる話だと思いました。その鳥は、一つの体に二つの頭があり、顔は人間に似ていると言われる想像の鳥です。ある時、この鳥の二つの頭が喧嘩しました。一方の頭が他方の頭をだまして毒の木の実を食べさせ殺してしまいました。殺した頭の方は「これからは俺の天下」とばかりに勇んでみたのも束の間、木の実の毒が全身に回り、自分も死んでしまったという話です。この話はネパールに伝わる話ですが、何か今の世相を象徴しているような気がしてなりません。

人間の体は一つですが、多くの部分からなっています。体全体が「目」であったら何で音を聞くのでしょうか。体全体が「耳」であったら何でにおいをかぐのでしょうか。もし体の一部分が苦しめばすべての部分も一緒に苦しみ、もし、褒められれば全ての部分も一緒に喜びます。それぞれがそれぞれの役目を持ち関係し合い補足しあって、私たちの体は機能しています。

今の世の中、自分さえよければ、他はどうなっても構わないという考え方が横行しているように思われてなりません。私達は多くの他人によって生かされていること、人間それぞれが共に命を分かち合って生きていることをもう一度しっかりと確認すべきではないかと思います。今や世界の人口は63億といわれます。地球も一つの共命鳥です。63億の頭をもった大きな共命鳥です。63億人の命は一つの緒で結ばれています。自分勝手なことをすれば自分で自分の首を絞めることになります。かけがえのない地球を守り、そして、一人一人の健康で安全で豊かな生活を守り築いていくためにも、この共命鳥の話を教訓にしなが、今年もいい一年にしたいものです。本年もどうぞよろしくご理解とご協力のほどお願い申し上げます。

生活指導から

(1) 1月の生活目標 「あいさつをしっかりとしよう」

挨拶は人とかかわりの第一歩であり、基本的な生活習慣であり、集団生活にとって必要な規範意識の一つです。どれだけできているでしょうか。チェックしてみましょう。

先生方、主事さん方に朝会ったとき、自分からあいさつできる。

友達にあいさつできる。

「さようなら」のあいさつがしっかりできる。

地域の人にあいさつできる。

学校以外で先生方に会ったときも自分からしっかりとあいさつできる。

返事がしっかりとできる。

ポイント(現状の様子)

二小では、自分からあいさつしない児童が大変多いのが現状です。朝、通学路や校舎内での様子を見ると、できている児童は平均して10%以下だと思われます。

特別な友達以外にはあまりあいさつしません。

黙って帰る児童がわりといるためにいつのまにかいなくなっています。

最低、この3つのポイントだけでも向上すれば、非常によい効果が生活だけではなく、学習面においてもあらわれることでしょう。

(2) 1月の避難訓練から

1月の避難訓練では、脱出シュートを使った避難について見学し、説明を聞きます。

5年生は、全員が脱出シュートを使った避難を体験することになっています。毎年、二小の恒例の避難訓練となっていますが、実際にこのようなことがないことを願っています。

生活指導主任

1月の行事予定

特別時間割

- 1月1日(火) 始業式 大掃除 水曜時程
- 1月2日(水) 給食開始 5時間授業
計測(6年)
- 1月3日(木) 月曜時間割 避難訓練
計測(4年)
- 1月4日(金) 計測(5年)

B時間割

- 1月7日(月) 委員会
- 1月8日(火) 都一斉学力調査(5年)
FC東京サカ教室(5・6年)
計測(2年) CAP(3年)
- 1月9日(水) 計測(1年) ふれ合いボランティア
(1~3年、2~4校時)
- 2月1日(金) 桜木祭

A時間割

- 2月4日(月) 5時間授業(クラブなし)
お話朝会(二中学校長講話)
- 2月5日(火) 書写展開始(2月4日まで)
クラブ(6校時)
- 2月7日(木) 社会科見学(5年)
- 2月8日(金) 音楽集会

B時間割

- 3月1日(月) クラブ(3年は見学)

ふれ合いボランティアについて

1月19日(水)には二中の生徒達が小学生と触れ合ったり、ミニ先生として活躍したりする「ふれ合いボランティア」が行われます。今回は中学生が二小の1~3年生の各クラスに入り、2~4校時を一緒に過ごします。1月1日の今年度1回目のふれ合いボランティアでは4~6年生に入ってくれました。その時の様子をお伝えします。

6年生の図工の時間では中学生がお手本になるようなかわいい龍の絵をさらさらと描き、「おおーっ、さすが中学生だ!!」と尊敬の眼差しで見られていました。絵の具を配ったり、紙を切って渡したり、よく働く中学生。なにより、大きい中学生が真剣に描いてくれたことでみんなの「描こう」という雰囲気が盛り上がりました。

家庭科では5年生のミシンの時間に中学生が来てくれました。始めのうちはなかなか言葉が出てこない中学生、じっと手元を見られて緊張する小学生といった様子が見られましたが、だんだん雰囲気がほぐれてくると、二小卒業生にとっては使い慣れたよく知っているミシンです。的確な指示がてきぱきと出されるようになりました。ちょっとでも気になったことにすぐ答えてくれる先生がたくさんいて、みんなとても心強かったようです。

前回は高学年でしたが、今回中学生と過ごすのは低学年のみなさん。中学生の大きさや逞しさをより強く感じるのではないかと考えています。

第21回 三鷹市小学校図画工作展について

今年も三鷹市の小学校児童の図画工作の時間や造形活動による作品を展示する、「三鷹市小学校図画工作展」が開催されます。

二小からも合計60~80点の図工作品を出品する予定です。出品者には出品者証をお渡しします。開催期間は、平成17年1月19日(水)~1月22日(土)の午前9時30分から午後5時まで(最終日は午後3時まで)となっています。会場は 三鷹市芸術文化センター 展示室です。

いろいろな学校の児童の作品を鑑賞できる良い機会です。是非、足を運んでみてください。

図工担当